



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社  
 コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,482	△12.6	591	△14.8	637	△9.7	315	△21.5
23年3月期第3四半期	9,701	△10.6	693	△39.2	706	△33.7	401	△38.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.75	19.73
23年3月期第3四半期	25.16	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	19,220	9,396	48.9	588.62
23年3月期	19,130	8,925	46.7	559.05

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,391百万円 23年3月期 8,925百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△2.6	650	△3.3	700	2.4	400	37.7	25.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	16,000,000 株	23年3月期	16,000,000 株
24年3月期3Q	35,689 株	23年3月期	34,591 株
24年3月期3Q	15,964,940 株	23年3月期3Q	15,968,088 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要への期待を背景とした内需が下支えに寄与する一方、欧州経済の減速やタイの洪水、円の高止まり等により外需が低迷し、景気の先行き不安を増大させつつあります。

世界経済においては、依然として出口の見えない欧州の債務危機が、新興国や回復基調の米国経済に大きな下振れリスクを投げかけております。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、海外では円高の影響に加えて船腹過剰感や船舶用燃料油の高騰が船主の建造意欲に水をさすもののLNG運搬船やLPG運搬船等の荷動きは回復傾向にあり、また、台湾、韓国においては漁船、商船関係の建造計画が一部出てきております。国内におきましては、火力発電所向けの重油を運ぶ黒油タンカー船の引き合いにつづき、今後は震災復興関連の荷動き増加による貨物船へのシフトが期待される所です。

このような企業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、主機関がやや持ち直したものの部分品が検査端末期にあつて低迷し、前年同期比2.2%減の6,821百万円となりました。売上高は主機関、部分品とも減少し同12.6%減の8,482百万円となりました。これにより受注残高は同21.4%減の5,468百万円となりました。

損益面につきましては、購入品の内製化による操業度の維持やコストダウン、経費節減に注力しましたが売上減をカバーしきれず、営業利益は591百万円(前年同期比14.8%減)、経常利益は637百万円(同9.7%減)、そして四半期純利益は315百万円(同21.5%減)となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出が減少し5,413百万円(前年同期比13.8%減)となりました。部分品・修理工事は輸出・国内とも低調で3,069百万円(同10.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は9,642百万円となり、前会計年度末に比べ572百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が181百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が316百万円増加したこと、製品が293百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,578百万円となり、前会計年度末に比べ483百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が443百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は19,220百万円となり、前会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は5,474百万円となり、前会計年度末に比べ351百万円増加いたしました。これは主に前受金が129百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が658百万円増加したことによるものであります。固定負債は4,348百万円となり、前会計年度末に比べ733百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が332百万円減少したこと、再評価に係る繰延税金負債が242百万円減少したこと、及び社債が70百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,823百万円となり、前会計年度末に比べ382百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は9,396百万円となり、前会計年度末に比べ471百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が267百万円増加したこと、土地再評価差額金が242百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は48.9%となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年11月7日に公表いたしました業績予想の修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

##### ②棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### 2. 特有の会計処理

##### ①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,439	2,520,066
受取手形及び売掛金	3,395,430	3,712,203
有価証券	10,492	10,495
製品	477,474	771,237
仕掛品	1,407,803	1,432,075
原材料及び貯蔵品	964,648	1,053,604
その他	279,749	289,895
貸倒引当金	△167,800	△147,500
流動資産合計	9,069,237	9,642,078
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,368,610	1,320,669
構築物(純額)	250,494	227,544
機械及び装置(純額)	1,508,117	1,172,866
車両運搬具(純額)	7,403	5,353
工具、器具及び備品(純額)	133,824	91,186
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	2,052	9,106
有形固定資産合計	9,088,373	8,644,598
無形固定資産	43,110	36,783
投資その他の資産		
投資有価証券	559,012	474,707
その他	394,055	444,190
貸倒引当金	△22,800	△22,200
投資その他の資産合計	930,267	896,698
固定資産合計	10,061,751	9,578,080
資産合計	19,130,989	19,220,159
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,990,128	2,648,136
1年内返済予定の長期借入金	458,428	443,428
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	140,583	162,462
前受金	1,490,102	1,360,938
賞与引当金	151,000	74,100
製品保証引当金	10,100	26,400
その他	743,244	619,147
流動負債合計	5,123,586	5,474,614

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	580,000	510,000
長期借入金	1,319,716	987,145
再評価に係る繰延税金負債	1,957,484	1,714,667
退職給付引当金	965,744	904,435
役員退職慰労引当金	74,800	—
その他	184,146	232,426
固定負債合計	5,081,891	4,348,674
負債合計	10,205,478	9,823,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	41,825	41,825
利益剰余金	5,106,268	5,373,666
自己株式	△9,724	△9,882
株主資本合計	5,938,370	6,205,609
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	126,789	83,076
土地再評価差額金	2,860,352	3,103,168
評価・換算差額等合計	2,987,141	3,186,244
新株予約権	—	5,016
純資産合計	8,925,511	9,396,870
負債純資産合計	19,130,989	19,220,159

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	9,701,968	8,482,049
売上原価	7,403,380	6,421,651
売上総利益	2,298,588	2,060,397
販売費及び一般管理費	1,604,833	1,469,059
営業利益	693,754	591,338
営業外収益		
受取利息	1,661	1,984
受取配当金	3,888	10,746
受取補償金	31,556	53,677
その他	12,711	12,359
営業外収益合計	49,817	78,767
営業外費用		
支払利息	31,615	24,210
その他	5,813	8,334
営業外費用合計	37,428	32,544
経常利益	706,143	637,561
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,071	—
製品保証引当金戻入額	1,900	—
特別利益合計	10,971	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,170	—
固定資産処分損	2,196	11,828
投資有価証券評価損	—	1,439
特別損失合計	14,366	13,268
税引前四半期純利益	702,748	624,293
法人税等	301,000	309,000
四半期純利益	401,748	315,293



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計) 〔平成22. 4. 1 から 平成22. 12. 31 まで〕	当四半期 (累計) 〔平成23. 4. 1 から 平成23. 12. 31 まで〕	(参考)前期 〔平成22. 4. 1 から 平成23. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	3,556 (51.0%)	3,752 (55.0%)	5,357 (54.8%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	3,422 (49.0%)	3,069 (45.0%)	4,414 (45.2%)
	合 計	6,978 (100.0%)	6,821 (100.0%)	9,771 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	6,955 (100.0%)	5,468 (100.0%)	7,128 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	6,955 (100.0%)	5,468 (100.0%)	7,128 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計) 〔平成22. 4. 1 から 平成22. 12. 31 まで〕	当四半期 (累計) 〔平成23. 4. 1 から 平成23. 12. 31 まで〕	(参考)前期 〔平成22. 4. 1 から 平成23. 3. 31 まで〕
主 機 関		6,279 (64.7%)	5,413 (63.8%)	7,907 (64.2%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		3,422 (35.3%)	3,069 (36.2%)	4,414 (35.8%)
合 計		9,701 (100.0%)	8,482 (100.0%)	12,322 (100.0%)
(うち輸出分)		(3,028) (31.2%)	(2,064) (24.3%)	(3,719) (30.2%)